

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業

I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(広島県 令和3年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①							成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②							成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考		
				計画時(平成27年)	1年後(平成29年)	2年後(平成30年)	3年後(令和元年)	4年後(令和2年)	5年後(令和3年)	目標値(令和3年)				達成率	計画時(平成27年)	1年後(平成29年)	2年後(平成30年)	3年後(令和元年)	4年後(令和2年)	5年後(令和3年)				目標値(令和3年)	達成率	交付金	都道府県費					市町村費	その他
世羅町	有限会社津口ファーム	畜産生産基盤育成強化(採卵鶏)	採卵鶏飼養における飼料要求率が2.07%以上向上	2.080 (飼料量9,160t/生産量4,404t)	2.038 (飼料量9,241t/生産量4,533t)	2.042 (飼料量9,310t/生産量4,559t)	2.041 (飼料量9,212t/生産量4,513t)	2.012 (飼料量9,223t/生産量4,584t)	1.978 (飼料量9,669t/生産量4,888t)	2.037 (飼料量9,260t/生産量4,545t)	237.2%	計画時(H27年)と比較して飼料要求率が4.9%向上	畜産生産基盤育成強化(採卵鶏)	受益農家の家畜1頭(ブレイラー・採卵鶏の場合100羽)当たりの生産コストを13.2%以上削減	867.5円 (746.390,000円/延べ羽数860,410百羽)	858.5円 (747.937,000円/延べ羽数871,228百羽)	796.8円 (702.193,000円/延べ羽数881,290百羽)	745.4円 (655.959,000円/延べ羽数880,038百羽)	733.1円 (648.095,000円/延べ羽数884,070百羽)	899.9円 (851.420,000円/延べ羽数946,156百羽)	753.4円 (664.858,000円/延べ羽数882,440百羽)	-28.4%	計画時(H27年)と比較して生産コストが3.7%増加	家畜飼養管理施設 ウインドレス鶏舎2棟 2183.52㎡ 電機設備一式 内部機械一式	295,920,000	124,074,000	0	0	171,846,000	H30.3.13	事業実施後鶏の導入も完了し、施設利用率も100%で稼働している。ウインドウレス鶏舎の整備により、飼料要求率は、2.080から1.978に向上し目標値を達成した。生産コストについては、コストの約6割を占めている購入飼料価格が、計画時の39,500円/tから49,800円/tに上昇したことによる飼料購入費の増加、令和3年3月に完成した新たな鶏舎へ大雞を導入したことによる家畜購入費の増加、また、鶏糞堆肥の利用が進まないことによる堆肥の産廃経費の増加により、目標未達成である。引き続き飼料要求率の向上や飼養管理の徹底を図るとともに、堆肥の利用拡大に努めることで、コスト低減を図る。	飼料要求率は達成したが、外的要因である配合飼料価格の上昇に加えて、家畜購入費や堆肥の産廃処理費用の増加により、コスト削減の目標は未達成となった。引き続き関係機関と連携し、飼料要求率の向上や飼養管理の徹底及び堆肥の利用拡大等による生産コストの削減を図るなど目標達成に向けた指導を行う。	

都道府県平均達成率	50.0%	総合所見	ウインドレス鶏舎の整備により飼料要求率の目標は達成したが、生産コスト削減の目標は未達成となった。未達成となった主な要因は、配合飼料価格の上昇及び家畜購入費や堆肥処理費用の増加であることから、引き続き飼料要求率の向上や飼養管理の徹底及び堆肥の利用拡大等による生産コストの削減を図るなど目標達成に向けた指導を行う。
-----------	-------	------	---

- (注) 1 別紙様式1号の2のIに準じて作成すること。  
 2 要領第3の4の(2)のアのただし書きの場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。  
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。  
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。  
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。  
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。

別紙様式2号

II 食品流通の合理化を目的とする取組用

市町村名	市場名	事業実施主体名	取組の分類	メニュー	成果目標の具体的な内容	成果目標 I						成果目標の具体的な実績	メニュー	成果目標の具体的な内容	成果目標 II						事業内容(施設区分、構造、規模等)	事業費(円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
						事業実施後の状況									事業実施後の状況								交付金	都道府県費	市町村費	その他					
						計画時(平成28年)	1年後(平成31年)	2年後(令和2年)	3年後(令和3年)	目標値(平成3年)	達成率				計画時(平成28年)	1年後(平成31年)	2年後(令和2年)	3年後(令和3年)	目標値(令和3年)	達成率											
広島市	中央卸売市場食肉市場	広島市	中央卸売市場施設整備の取組	効率的な市場流通	【物流の迅速化】単重量当たり作業時間を1.2%以上短縮	1頭(単重量当たり)の作業時間 33秒 内訳 (時間) 2.5時間 (頭数) 270頭	1頭(単重量当たり)の作業時間 35秒 (時間) 2.5時間 (頭数) 251頭	1頭(単重量当たり)の作業時間 34秒 (時間) 2.4時間 (頭数) 251頭	1頭(単重量当たり)の作業時間 34秒 (時間) 2.2時間 (頭数) 234頭	1頭(単重量当たり)の作業時間 31秒 (時間) 2.5時間 (頭数) 290頭	-50.0%	単重量当たり作業時間は△3%で、目標達成に至らなかった。	効率的な市場流通	【物流コスト等の削減】労働費、光熱動力費を1.1%以上削減	場内物流コスト 375,920千円 内訳 (労働費) 362,698千円 (光熱動力費) 13,222千円	場内物流コスト 392,071千円 (労働費) 379,729千円 (光熱動力費) 12,342千円	場内物流コスト 395,607千円 (労働費) 384,356千円 (光熱動力費) 11,251千円	場内物流コスト 396,313千円 (労働費) 383,062千円 (光熱動力費) 13,251千円	場内物流コスト 366,878千円 (労働費) 354,455千円 (光熱動力費) 12,423千円	-225.5%	物流コストは△5.4%で、目標達成に至らなかった。	食肉処理施設(設備) (小動物用自動背割機、付附帯設備)	40,986,000	13,662,000	0	27,324,000	0	H31.1.4	【成果目標 I】 未達成の原因は、①自動背割機の動作の不具合。②様々な形態が混在し背割不良が作業ロスが生じているため。①は徐々に改善しており、②は作業工程改善に取り組んでいる。 【成果目標 II】 ・労働費：未達成の原因は、省人化ができていないため、引き続き省人化を図る必要がある。 ・光熱動力費：R2年度は目標達成したが、R3年度は燃料費高騰の影響等により電気料金が増加。今後、LED照明の導入の検討等による省エネ取組の必要がある。  自動背割機の動作の不具合や作業ロスの解消は、作業時間の短縮と同時にそのポジションの省人化、電気料金の削減につながるため、自動背割機のメーカーと協力し引き続き改善を図る。	成果目標の2件とも、未達成である。自動背割機の動作の不具合や作業ロスを早期に改善し、作業効率の向上による作業時間の短縮と省人化を図るとともに、LED照明の導入の検討等による省エネによる光熱動力費の軽減を図られるよう指導する。	

都道府県平均達成率	0%	総合所見	食肉関連施設(小動物用自動背割機)の整備による、物流の迅速化と物流コストの軽減の目標は未達成となった。未達成となった主な原因は、自動背割機の動作の不具合や作業ロスが生じたためであることから、引き続き改善に努め、作業時間の短縮や、省人化及びLED照明の導入の検討等による省エネによる物流コストの削減を図るなど、目標達成に向けた指導を行う。
-----------	----	------	--

- (注) 1 別紙様式1号の2のIIに準じて作成すること。  
 2 別添として、各事業実施主体等が作成した事業実施状況報告書を添付すること。  
 3 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。  
 4 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。  
 5 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。